

<概要>

日時：令和元年6月26日（水） 10:00～11:45

会場：飯田合同庁舎301会議室（3階講堂）

出席数37名（うち委任状により出席とみなされた者12名）、欠席3名 【委員総数40名】

<協議事項>

- (1) 第1号議案 役員の改選について
- (2) 第2号議案 平成30年度事業報告及び決算報告について
- (3) 第3号議案 令和元年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- (4) 第4号議案 地域公共交通確保維持改善事業「生活交通確保維持改善計画」について
 - ① 飯田市（飯田市地域公共交通改善市民会議）
 - ② 松川町（松川町地域公共交通対策協議会）
 - ③ 阿南町（下伊那南部地域公共交通対策協議会）
 - ④ 阿智村（阿智村地域公共交通協議会）
 - ⑤ 根羽村（西部コミュニティバスを守り育てる会）
 - ⑥ 喬木村（喬木村地域公共交通会議）
 - ⑦ 豊丘村（豊丘村地域公共交通会議）
 - ⑧ 大鹿村（大鹿村地域公共交通会議）

<報告事項>

- ・地域交通ベストミックス構築事業について
- ・平成30年度運行実績報告について（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

<その他>

- ・WEラブ赤ちゃんプロジェクトの取組について

- ・議事録署名人に松川町社会福祉協議会会長 水野一昭氏及び下條中学校前PTA会長 土屋堅一氏が選任された。

<協議内容>

- (1) 第1号議案 役員の改選について
 - ・事務局長より説明。
 - ・役員の改選について選考方法の提案（意見）は無く、事務局案を提出（配付）した。

☞議案（事務局案）の通り承認された。

(2) 第2号議案 平成30年度事業報告及び決算報告について

- ・事務局より説明。
- ・決算報告後にて飯田商工会議所の柴田会頭の代理である松村課長により監査報告。

【意見】

- ・情報発信について、各市町村や南信州地域交通問題協議会で行っているイベントなどを集約し、南信州公共交通ポータルサイトを活用（告知等）すべき（名古屋大学 加藤教授）
- これまで利用促進等につながる情報発信ができていなかったため、今後は市町村と連携し様々な情報を行っていききたい。

☞議案の通り承認された。

(3) 第3号議案 令和元年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

- ・事務局より説明。

【意見】

- ・事業計画（案）の“3 既存公共交通の改善事業・利便性向上事業”の中に、名古屋大学等と連携し、とあるがどこを想定しているか。（名古屋大学 加藤教授）
- 南信州地域交通問題協議会の構成メンバーに多種多様な組織が関わっている。環境団体、福祉事業者、商工観光関係者等がいるため、そういったメンバーと利用促進・利用転換にかかる事業を研究・検討していききたいと考えている。
- ・インバウンドに対する情報発信が遅れている。来訪者（外国人観光客含む）に対応するためには、南信州公共交通ポータルサイト以外のGoogleなどの検索エンジンで目的地にできるようにしておくべき（名古屋大学 加藤教授）
- 県で管理運営している「信州ナビ」には対応できており、目的地までの乗り継ぎを含めた情報は提供できている。新たな取り組みとなると費用面ですぐに対応できないことも想定されるため、研究・検討を進めたい。

☞議案の通り承認された。

(3) 第4号議案 生活交通確保維持改善計画について

- ・事務局より説明。
- ① 飯田市（飯田市地域公共交通改善市民会議）
 - ② 松川町（松川町地域公共交通対策協議会）
 - ③ 阿南町（下伊那南部地域公共交通対策協議会）
 - ④ 阿智村（阿智村地域公共交通協議会）
 - ⑤ 根羽村（西部コミュニティバスを守り育てる会）
 - ⑥ 喬木村（喬木村地域公共交通会議）
 - ⑦ 豊丘村（豊丘村地域公共交通会議）
 - ⑧ 大鹿村（大鹿村地域公共交通会議）
- ・第4号議案について、各市町村の公共交通担当者より説明。

【意見】

- ・各市町村公共交通会議の策定した計画について、ありきたりなことしか書いてないのでしっかりアピールすべきである。各市町村公共交通会議で議論してきた内容も書かれていないので、直近3年までを詳細に書くこと。1月に事後評価、2月に二次評価（第3者評価）、それを踏まえ6月の地域公共交通会議で協議していただきたい。（名古屋大学 加藤教授）
- ・目標値も前年度実績を2割減っているような路線（系統）がある。単純に人口減少、少子高齢化を理由としない。読める理由を書くのではなくて明確な理由を書いていただきたい。（名古屋大学 加藤教授）

☞加藤教授の意見を踏まえ訂正し、国に提出することで承認された。

<報告事項>

(1)地域交通ベストミックス構築事業について

(2)平成30年度運行実績について（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

- ・報告事項(1)及び(2)について、南信州地域交通問題協議会事務局より一括して説明。

【意見】

- ・地域交通ベストミックス構築事業及び平成30年度運行実績については報告事項でなく、事業報告の中に位置付けた方が良い。（名古屋大学 加藤教授）

○国土交通省 北陸信越運輸局 長野運輸支局 芦澤 首席運輸企画専門官より一言

- ・生活交通、観光交通、災害交通について広域連携の重要性を認識している。
- ・広域連携で取り組むことによって、もっと利用者を増やせる可能性があるのではないかと考えている。広域の強みを活かした事業に取り組んでいただきたい。

以上

南信州地域交通問題協議会 総会 出欠席者名簿 (令和元年6月26日)

区 分	所属団体等	委員名		出欠席	代理出席者名
		役 職	氏 名		
公共交通利用者 (住民代表)	飯田市地域公共交通改善市民会議	会 長		/	6月28日に開催する市民会議において決定
	飯田市地域公共交通改善市民会議	副会長			
	高森町	区長(牛牧区長)	林 治巳	○	
	社会福祉法人 松川町社会福祉協議会	会長	水野 一昭	○	
	阿南町シニアクラブ連合会	会 長	藤澤 徳夫	○	
	下條中学校	前PTA会長	土屋 堅一	○	
	阿智村自治会連絡協議会	副会長	熊谷 知文	×	
	阿智村浪合自治会	会 長	塩澤 房人	○	
環境団体	地域ぐるみ環境ISO研究会	事務局代表	福岡 健志	○	事務局 小林 晋 (飯田市環境モデル都市推進課)
福祉事業者	社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会	会 長	中島 武津雄	×	
学校関係者	下伊那地区高等学校長会 (会長:長野県阿智高等学校長)	校 長	平出 保	○	教頭 武居 正憲
商工観光関係者	飯田商工会議所	会 頭	柴田 忠昭	○	振興課 課長 松村 憲
	長野県商工会連合会 南信州支部	支部長	秦 和陽児	○	南信支所 支所長 井口 公男
	株式会社 南信州観光公社	代表取締役社長	高橋 充	○	
公共交通 事業者	東海旅客鉄道 株式会社 飯田支店	駅長・支店長	大坂 勝典	○	
	信南交通 株式会社	社 長	中島 一夫	○	旅客サービス 副部長 林 浩人
	伊那バス 株式会社	社 長	藤澤 洋二	○	松川営業所 所長 堀内 郁勇
	長野県タクシー協会 下伊那支部	支部長	村澤 文彦	○	
	大新東 株式会社 松本営業所	所 長	田村 和信	×	
公安委員会	飯田警察署	署 長	福澤 政徳	○	交通課 主任 福島 哲雄
	阿南警察署	署 長	宮林 雄二	○	交通課 交通係 小林 篤市
学識経験者等	広域連合議会	議 員	山崎 昌伸	○	
	広域連合議会	議 員	早川 勝彦	○	
	名古屋大学大学院	環境学研究科 教授	加藤 博和	○	

道路管理者	国土交通省 中部地方整備局 飯田国道事務所	所 長	尾出 清	○	計画課 課長 福田 佳典
	長野県 飯田建設事務所	所 長	丸山 義廣	○	維持管理課 課長 鈴木 進
行 政	南信州地域振興局	局 長	土屋 智則	○	企画振興課 主事 長岡 真実
	飯田市	市 長	牧野 光朗	○	
	松川町	町 長	宮下 智博	○	
	高森町	町 長	壬生 照玄	○	
	阿南町	町 長	勝野 一成	○	副町長 松澤 享
	阿智村	村 長	熊谷 秀樹	○	
	平谷村	村 長	小池 正充	○	総務課 課長 滝澤 浩
	根羽村	村 長	大久保 憲一	○	
	下條村	村 長	金田 憲治	○	
	売木村	村 長	清水 秀樹	○	
	天龍村	村 長	永嶺 誠一	○	
	泰阜村	村 長	横前 明	○	
	喬木村	村 長	市瀬 直史	○	企画財政課 主任 水野 佳本
	豊丘村	村 長	下平 喜隆	○	総務課 係長 松下 浩之
	大鹿村	村 長	柳島 貞康	○	総務課 課長 小塩 宗樹
南信州広域連合	広域連合長	牧野 光朗	○	(再掲)	
オブザーバー	国土交通省 北陸信越運輸局 長野運輸支局	首席運輸企画専門官	芦澤 千恵子	○	
	長野県 企画振興部 交通政策課	課 長	宮島 克夫	×	
事務局	南信州広域連合	事務局長	高田 修	○	
		事務局次長	松江 良文	○	
		次長補佐 (広域振興係長)	櫻井 英人	○	
		主 査	仲田 伸久	○	
		主 査	一柳 和宏	○	